

平成 28年度 委託研究開発成果報告書

I. 基本情報

- 事業名 : (日本語) 難治性疾患実用化研究事業
(英語) Practical Research Project for Rare / Intractable Diseases
- 研究開発課題名 : (日本語) 強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究
(英語) Elucidation of the pathophysiology and development of innovative drug on scleroderma
- 研究開発担当者 (日本語) 熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学分野
教授 尹 浩信
- 所属 役職 氏名 : (英語) Department of Dermatology and Plastic Surgery, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
Professor and Chairman Hironobu Ihn MD, PhD
- 実施期間 : 平成 28年 4月 1日 ~ 平成 29年 3月 31日
- 分担研究 (日本語) ・強皮症病態の一元化モデル作成
・GWAS プロジェクト
・その他の病因・病態解明プロジェクト
・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・新規治療開発
・iPS 細胞プロジェクト
・革新的医薬品開発プロジェクト
- 開発課題名 : (英語) ・Establishment of a unified model of scleroderma pathophysiology
・GWAS project
・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
・Clarification of the factors which reflect activity and prognosis of scleroderma
・Development of new reagents for scleroderma
・iPS cell project
・Innovative drug development project

研究開発分担者 (日本語) 東京大学医学部附属病院皮膚科
教授 佐藤伸一

所属 役職 氏名 : (英 語) Department of Dermatology, Faculty of Medicine, University of
Tokyo
Professor Shinichi Sato

実施期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) ・強皮症病態の一元化モデル作成
・GWAS プロジェクト
・その他の病因・病態解明プロジェクト
・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・新規治療開発

開発課題名 : (英 語) ・Establishment of a unified model of scleroderma pathophysiology
・GWAS project
・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
・Clarification of the factors which reflect activity and
prognosis of scleroderma
・Development of new reagents for scleroderma

研究開発分担者 (日本語) 群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学
教授 石川 治

所属 役職 氏名 : (英 語) Department of Dermatology, Gunma University Graduate School of
Medicine
Professor Osamu Ishikawa

実施期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) ・GWAS プロジェクト
・その他の病因・病態解明プロジェクト
・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・新規治療開発

開発課題名 : (英 語) ・GWAS project
・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
・Clarification of the factors which reflect activity and
prognosis of scleroderma
・Development of new reagents for scleroderma

研究開発分担者 (日本語) 大阪大学大学院医学系研究科・呼吸器免疫アレルギー内科学
教授 熊ノ郷淳

所属 役職 氏名 : (英 語) Respiratory Medicine, Allergy and Rheumatic Disease, Graduate
School of Medicine, Osaka University

Professor Jun Kumanogoh

実施期間： 平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語)・GWAS プロジェクト
・その他の病因・病態解明プロジェクト
・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・新規治療開発

開発課題名 (英語)・GWAS project
・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
・Clarification of the factors which reflect activity and prognosis of scleroderma
・Development of new reagents for scleroderma

研究開発分担者 (日本語) 金沢大学医薬保健研究域医学系皮膚分子病態学
教授 竹原和彦

所属 役職 氏名：(英語) Department of Molecular Pathology of Skin, Faculty of Medicine,
Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa
University
Professor Kazuhiko Takehara

実施期間： 平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語)・GWAS プロジェクト
・その他の病因・病態解明プロジェクト
・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・新規治療開発
・革新的医薬品開発プロジェクト

開発課題名 (英語)・GWAS project
・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
・Clarification of the factors which reflect activity and prognosis of scleroderma
・Development of new reagents for scleroderma
・Innovative drug development project

研究開発分担者 (日本語) 福井大学医学部感覚運動医学講座皮膚科学
教授 長谷川稔

所属 役職 氏名：(英語) Department of Dermatology, University of Fukui Faculty of Medical
Sciences
Professor Minoru Hasegawa

実施期間： 平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語)・GWAS プロジェクト
・その他の病因・病態解明プロジェクト
・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・新規治療開発
・革新的医薬品開発プロジェクト

開発課題名 (英語)・GWAS project
・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
・Clarification of the factors which reflect activity and prognosis of scleroderma
・Development of new reagents for scleroderma
・Innovative drug development project

研究開発分担者 (日本語) 筑波大学医学医療系皮膚科
教授 藤本 学

所属 役職 氏名:(英語) Department of Dermatology, University of Tsukuba
Professor Manabu Fujimoto

実施期間: 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語)・GWAS プロジェクト
・その他の病因・病態解明プロジェクト
・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・新規治療開発
・革新的医薬品開発プロジェクト

開発課題名 (英語)・GWAS project
・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
・Clarification of the factors which reflect activity and prognosis of scleroderma
・Development of new reagents for scleroderma
・Innovative drug development project

研究開発分担者 (日本語) 福島県立医科大学皮膚科学講座
教授 山本 俊幸

所属 役職 氏名:(英語) Department of Dermatology, Fukushima Medical University, School
of Medicine
Professor Toshiyuki Yamamoto

実施期間: 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語)・GWAS プロジェクト
・その他の病因・病態解明プロジェクト
・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・新規治療開発

- ・革新的医薬品開発プロジェクト
- 開発課題名 (英 語) ・GWAS project
- ・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
 - ・Clarification of the factors which reflect activity and prognosis of scleroderma
 - ・Development of new reagents for scleroderma
 - ・Innovative drug development project
- 研究開発分担者 (日本語) 東京女子医科大学リウマチ科
臨床教授 川口 鎮司
- 所属 役職 氏名 : (英 語) Institute of Rheumatology Tokyo Women' s Medical University
Clinical Professor Yasushi Kawaguchi
- 実施期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
- 分担研究 (日本語) ・GWAS プロジェクト
- ・その他の病因・病態解明プロジェクト
 - ・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
 - ・新規治療開発
- 開発課題名 (英 語) ・GWAS project
- ・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
 - ・Clarification of the factors which reflect activity and prognosis of scleroderma
 - ・Development of new reagents for scleroderma
- 研究開発分担者 (日本語) 日本医科大学大学院医学系研究域アレルギー膠原病内科学
教授 桑名 正隆
- 所属 役職 氏名 : (英 語) Department of Allergy and Rheumatology, Nippon Medical School
Graduate School of Medicine
Professor Masataka Kuwana
- 実施期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
- 分担研究 (日本語) ・GWAS プロジェクト
- ・その他の病因・病態解明プロジェクト
 - ・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
 - ・新規治療開発
- 開発課題名 (英 語) ・GWAS project
- ・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
 - ・Clarification of the factors which reflect activity and prognosis of scleroderma
 - ・Development of new reagents for scleroderma
- 研究開発分担者 (日本語) 筑波大学医学医療系内科 (膠原病リウマチアレルギー)

准教授 後藤 大輔

所属 役職 氏名 : (英 語) Department of Dermatology Rheumatology, University of Tsukuba
Associate professor Daisuke Goto

実施期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) ・ GWAS プロジェクト
・ その他の病因・病態解明プロジェクト
・ 強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・ 新規治療開発

開発課題名 (英 語) ・ GWAS project
・ Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
・ Clarification of the factors which reflect activity
and prognosis of scleroderma
・ Development of new reagents for scleroderma

研究開発分担者 (日本語) 東京大学医学部附属病院皮膚科
准教授 浅野 善英

役職 所属 氏名 : (英 語) Department of Dermatology, Faculty of Medicine, University of
Tokyo
Associate professor Yoshihide Asano

実施期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) ・ 強皮症病態の一元化モデル作成
・ GWAS プロジェクト
・ その他の病因・病態解明プロジェクト
・ 強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・ 新規治療開発

開発課題名 : (英 語) ・ Establishment of a unified model of scleroderma pathophysiology
・ GWAS project
・ Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma
・ Clarification of the factors which reflect activity and
prognosis of scleroderma
・ Development of new reagents for scleroderma

研究開発分担者 (日本語) 東海大学総合医学研究所
講師 岡 晃

役職 所属 氏名 : (英 語) Tokai University The Institute of Medical Sciences
Rector Akira Oka

実施期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) ・ GWAS プロジェクト
・ その他の病因・病態解明プロジェクト

開発課題名 : (英 語) ・ GWAS project

・Elucidation of pathogenesis and pathophysiology of scleroderma

研究開発分担者 (日本語) 名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科
教授 森田 明理

役職 所属 氏名: (英語) Department of Dermatology, Nagoya City University Graduate School
of Medical Sciences, Medical School
Professor Akimichi Morita

実施期間: 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) ・GWAS プロジェクト
・強皮症の活動性、予後予測因子の抽出
・新規治療開発

開発課題名: (英語) ・GWAS project
・Clarification of the factors which reflect activity and
prognosis of scleroderma
・Development of new reagents for scleroderma

研究開発分担者 (日本語) 熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学分野
准教授 神人 正寿

役職 所属 氏名: (英語) Department of Dermatology and Plastic Surgery, Faculty of Life Sciences,
Kumamoto University
Associate professor Masatoshi Jinnin

実施期間: 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) ・強皮症病態の一元化モデル作成
・GWAS プロジェクト
・新規治療開発
・iPS 細胞プロジェクト
・革新的医薬品開発プロジェクト

開発課題名: (英語) ・Establishment of a unified model of scleroderma pathophysiology
・GWAS project
・Development of new reagents for scleroderma
・iPS cell project
・Innovative drug development project

研究開発分担者 (日本語) 熊本大学発生医学研究所幹細胞誘導分野
教授 江良 択実

役職 所属 氏名: (英語) Institute of Molecular Embryology and Genetics
Professor Takumi Era

実施期間: 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) ・iPS 細胞プロジェクト

開発課題名 (英語) ・iPS cell project

研究開発分担者 (日本語) 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能分子合成学
教授 大塚 雅巳

役職 所属 氏名: (英語) Department of Bioorganic Medicinal Chemistry Kumamoto University
Professor Masami Otsuka

実施期間: 平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月 31日

分担研究 (日本語) ・強皮症病態の一元化モデル作成
・革新的医薬品開発プロジェクト

開発課題名 (英語) ・Establishment of a unified model of scleroderma pathophysiology
・Innovative drug development project

II. 成果の概要（総括研究報告）

和文

強皮症は膠原病の中でも予後が悪く、特に難治性である。本症の病因・病態を解明し、それに基づいて革新的な医薬品を開発することは国民の健康を守る観点から非常に重要である。

全身性強皮症の主要病態は、①免疫系の活性化、②線維芽細胞の異常、③血管障害である。これらの観点から我々の研究班は全身性強皮症の病因の解明を目進めてきたが、特に平成 26 年度～平成 28 年度にかけて全身性強皮症患者由来線維芽細胞を用いて *in vitro* で、またブレオマイシン線維化モデルマウスを用いて *in vivo* で新規薬剤の有効性のスクリーニングを進めた。その過程で TGF- β /Smad 情報伝達および上皮間葉転換阻害剤である低分子化合物 X が最も有望であることを見出した。

また、2002 年から継続している重症型強皮症早期例とその血清の登録・経過観察（レジストリ）事業を継続し、活動性や予後と関連する因子などを解析した。全身性強皮症の活動性や予後を反映する因子が同定されれば、治験に組み込むべき症例が抽出可能となり、また治療の有効性を確認するバイオマーカーが同定出来る可能性が高い。

過去の班研究の間に genome-wide association study (GWAS) を行うため抗トポイソメラーゼ I 抗体陽性例の DNA サンプルの収集を行ってきた (300 例)。本研究では更に症例を増やして DNA サンプルを増やすとともに、GWAS の解析も進め、疾患感受性遺伝子を同定するとともに、重症化の危険因子、予後関連因子を明らかにすることができた。

英文

Scleroderma, or systemic sclerosis (SSc) has poor prognosis, and is especially intractable in rheumatic diseases. It is very important to elucidate the pathogenesis and pathophysiology of this disease and to develop innovative medicines in terms to improve the public health.

The major pathophysiology of SSc are 1.the activation of the immune system, 2.the abnormality of fibroblasts, and 3.the vascular damage. From these points of view, our research group has been trying to elucidate the pathogenesis of SSc. In particular, between 2014 and 2016,we screened the new drugs and examine its efficacy using fibroblasts derived from patients with SSc *in vitro*, also using bleomycin fibrosis model mouse *in vivo*. In this process, we found the most promising novel low molecular compound X in our screening study.

Also, we continued the registry project of the early and severe cases of SSc and follow-up these cases. We will analyze the factors related to the disease activity and the prognosis of SSc. If the relevant factors to the activity and the prognosis of SSc are identified, it is possible to collect them into clinical trials, there is high possibility that the biomarkers indicating the effectiveness of treatment can be identified.

We have collected DNA samples from 300 cases with anti-topoisomerase I antibody to implement the genome-wide association study (GWAS). We want to increase the number of cases and increase DNA samples for implementing the GWAS project, and we could identify the biomarkers indicating the risk of severity and prognosis of SSc.

Ⅲ. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧 (国内誌 43 件、国際誌 130 件)

1. Noguchi H, Hiruma M, Matsumoto T, Mitsui N, Sano A, Yaguchi T, Ihn H. Subcutaneous cystic phaeohyphomycosis due to *Pleurostomophora richardiae*. *J Dermatol*, in press
2. Harada M, Jinnin M, Wang Z, Hirano A, Tomizawa Y, Kira T, Igata T, Masuguchi S, Fukushima S, Ihn H. The expression of miR-124 increases in aged-skin to cause cell senescence and it decreases in squamous cell carcinoma. *Biosci Trends*, in press
3. Amagai M, Ikeda S, Hashimoto T, Mizuashi M, Fujisawa A, Ihn H, Matsuzaki Y, Ohtsuka M, Fujiwara H, Furuta J, Tago O, Yamagami J, Tanikawa A, Uhara H, Morita A, Nakanishi G, Tani M, Aoyama Y, Makino E, Muto M, Manabe M, Konno T, Murata S, Izaki S, Watanabe H, Yamaguchi Y, Matsukura S, Seishima M, Habe K, Yoshida Y, Kaneko S, Shindo H, Nakajima K, Kanekura T, Takahashi K, Kitajima Y, Hashimoto K. A randomized double-blind trial of intravenous immunoglobulin for bullous pemphigoid. *J Dermatol Sci*, in press
4. Wang Z, Jinnin M, Harada M, Kudo H, Inoue K, Nakayama W, Honda N, Makino K, Kajihara I, Fukushima S, Ihn H. Diagnosis of nail psoriasis: evaluation of nail-derived microRNAs as potential novel biomarker. *Eur J Dermatol*, in press
5. Noguchi H, Hiruma M, Matsumoto T, Kano R, Ihn H. Ungual hyalohyphomycosis caused by *Fusarium proliferatum* in immunocompetent patients. *J Dermatol*, in press
6. Saeki H, Nakagawa H, Nakajo K, Ishii T, Morisaki Y, Aoki T, Cameron GS, Osuntokun OO, Akasaka T, Asano Y, Etoh T, Fujita Y, Hashimoto T, Higashiyama M, Igarashi A, Ihn H, Iwatsuki K, Kabashima K, Kawada A, Kawashima M, Nakamura K, Okubo Y, Okuyama R, Ozawa A, Sayama K, Seishima M, Shiohara T, Takahara M, Takahashi H, Takehara K, Tanase K, Tani M, Umezawa Y, Watanabe H, Yamanaka K. Efficacy and safety of ixekizumab treatment for Japanese patients with moderate to severe plaque psoriasis, erythrodermic psoriasis and generalized pustular psoriasis: Results from a 52-week, open-label, phase 3 study (UNCOVER-J). *J Dermatol*, in press
7. Egashira S, Kajihara I, Kanemaru H, Uemura M, Yamada S, Nakahara S, Nagamoto E, Fukushima S, Jinnin M, Inoue Y, Ihn H. Dramatic efficacy of S-1 and docetaxel combination chemotherapy in two patients with metastatic extramammary Paget's disease. *J Dermatol*, in press
8. Maeda S, Kajihara I, Ogata A, Johno T, Jinnin M, Ihn H. Bromoderma in a pituitary adenoma patient treated with bromocriptine. *J Dermatol*, in press
9. Sato Y, Kajihara I, Makino K, Ichihara A, Aoi J, Makino T, Fukushima S, Jinnin M, Ihn H. S100A7 expression levels in coordination with IL-8 forecast the clinical response to infliximab for psoriasis. *J Dermatol*, in press
10. Noguchi H, Hiruma M, Matsumoto T, Kano R, Ihn H. Ungual aspergillosis successfully treated with topical efinaconazole. *J Dermatol*, in press

11. Wang Z, Nakamura K, Jinnin M, Kudo H, Goto M, Era T, Kira T, Nakashima T, Fukushima S, Ihn H. Establishment and gene expression analysis of disease-derived induced pluripotent stem cells of scleroderma. *J Dermatol Sci*, in press
12. Sawamura S, Kajihara I, Makino K, Makino T, Fukushima S, Jinnin M, Oyama B, Hashimoto T, Ihn H. Systemic lupus erythematosus associated with myasthenia gravis, pemphigus foliaceus and chronic thyroiditis after thymectomy. *Australas J Dermatol*, in press
13. Nakayama W, Jinnin M, Nakamura K, Kudo H, Inoue K, Makino K, Honda N, Kajihara I, Fukushima S, Ihn H. Dysregulated Interleukin-23 signaling contributes to the increased collagen production in scleroderma fibroblasts via balancing microRNA expression. *Rheumatology*, in press
14. Tokuzumi A, Fukushima S, Miyashita A, Nakahara S, Kubo Y, Yamashita J, Harada M, Nakamura K, Kajihara I, Jinnin M, Ihn H. Cell division cycle-associated protein 1 as a new melanoma-associated antigen. *J Dermatol*, in press
15. Hamaguchi Y, Sumida T, Kawaguchi Y, Ihn H, Tanaka S, Asano Y, Motegi S, Kuwana M, Endo H, Takehara K. Safety and tolerability of bosentan for digital ulcers in Japanese patients with systemic sclerosis: prospective, multicenter, open-label study. *J Dermatol*, in press
16. Nakahara S, Fukushima S, Yamashita J, Kubo Y, Tokuzumi A, Miyashita A, Harada M, Nakamura K, Jinnin M, Ihn H. AT-rich interaction domain-containing protein 3B is a new tumor marker for melanoma. *Acta Derm Venereol*, in press
17. Izumiya Y, Ihn H, et al. Expression of Let-7 family microRNAs in skin correlates negatively with severity of pulmonary hypertension in patients with systemic scleroderma. *International Journal of Cardiology (IJC) Heart & Vasculature*. in press
18. Umezaki N, Ishimoto T, Koba I, Nakaya T, Mawatari M, Kuramoto K, Izumi D, Sakamoto Y, Miyamoto Y, Yoshida N, Watanabe M, Inoue Y, Ihn H, Baba H. Anorectal malignant melanoma with extensive intraepithelial extension: report of a case. *Int Canc Conf J*, in press
19. Inoue H, Park JH, Kiyotani K, Zewde M, Miyashita A, Jinnin M, Kuniwa Y, Okuyama R, Tanaka R, Fujisawa Y, Kato H, Morita A, Asai J, Katoh N, Yokota K, Akiyama M, Ihn H, Fukushima S, Nakamura Y. Intratumoral expression levels of PD-L1, GZMA, and HLA-A along with oligoclonal T cell expansion associate with response to nivolumab in metastatic melanomas. *Oncoimmunology*,5, e1204507,2016
20. Nakamura K, Jinnin M, Harada M, Kudo H, Nakayama W, Inoue K, Ogata A, Kajihara I, Fukushima S, Ihn H. Altered expression of CD63 and exomes in scleroderma dermal fibroblasts. *J Dermatol Sci*,84, 30-39,2016
21. Noguchi H, Hiram M, Maruo K, Jono M, Miyata K, Tanaka H, Tanabe K, Miyazaki Y, Ihn H. Localized cutaneous cryptococcosis: Summary of reported cases in Japan. *Med Mycol J*,57, E35-E39,2016

22. Yamada S, Jinnin M, Kajihara I, Nakashima T, Aoi J, Harada M, Igata T, Masuguchi S, Fukushima S, [Ihn H](#). Cytokine expression profiles in the sera of cutaneous squamous cell carcinoma patients. *Drug Discov Ther*,10, 172-6,2016
23. Kimura T, Fukushima S, Miyashita A, Aoi J, Jinnin M, Kosaka T, Ando Y, Matsukawa M, Inoue H, Kiyotani K, Park J-H, Nakamura Y, [Ihn H](#). Myasthenic crisis and polymyositis induced by one dose of nivolumab. *Cancer Sci*,107, 1055-8,2016
24. Inoue M, Jinnin M, Wang Z, Nakamura K, Inoue K, Ichihara A, Moriya C, Sakai K, Fukushima S, [Ihn H](#). microRNA level is raised in the hair shafts of patients with dermatomyositis in comparison with normal subjects and patients with scleroderma. *Int J Dermatol*,55, 786-90,2016
25. Nakamura K, Jinnin M, Kudo H, Inoue K, Nakayama W, Honda N, Kajihara I, Masuguchi S, Fukushima S, [Ihn H](#). The role of PSMB9 up-regulation by interferon signature in the pathophysiology of cutaneous lesions of dermatomyositis and lupus erythematosus. *Br J Dermatol*,174, 1030-41,2016
26. Noguchi H, Hiruma M, Miyashita A, Makino K, Miyata K, [Ihn H](#). A case of fingernail onychomycosis due to *Aspergillus flavus*. *Medical Mycol J*,57, E21-E25,2016
27. John T, Egawa K, Jinnin M, Fukushima S, Masuguchi S, Inoue Y, [Ihn H](#). Clinical usefulness of immunostaining with CEA in distinction between malignant melanoma and Spitz nevus. *Invest Dermatol Venereol Res*,2, 1~4,2016
28. Uchihara T, Imamura Y, Iwagami S, Kajihara I, Kanemaru H, Karashima R, Ida S, Ishimoto T, Baba Y, Sakamoto Y, Miyamoto Y, Yoshida N, Watanabe M, Iyama K, [Ihn H](#), Baba H. Small bowel perforation due to indistinguishable metastasis of angiosarcoma: case report and brief literature review. *Surg Case Rep*, 2,42,2016
29. Koga A, Kajihara I, Yamada S, Makino K, Ichihara A, Aoi J, Makino T, Fukushima S, Jinnin M, [Ihn H](#). Enhanced CCR9 expression levels in psoriatic skin are associated with poor clinical outcome to infliximab treatment. *J Dermatol*,43, 522-5,2016
30. Yoshino Y, Ohtsuka M, Kawaguchi M, Sakai K, Hashimoto A, Hayashi M, Madokoro N, Asano Y, Abe M, Ishii T, Isei T, Ito T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ogawa F, Kadono T, Kawakami T, Kukino R, Kono T, Koderu M, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Yamasaki O, Le Pavoux A, Tachibana T, [Ihn H](#). The wound/ burn guidelines – 6: Guidelines for management of burns. *J Dermatol*,43 989-1010,2016
31. Ito T, Kukino R, Takahara M, Tanioka M, Nakamura Y, Asano Y, Abe M, Ishii T, Isei T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Ogawa F, Kadono T, Kawakami T, Kawaguchi M, Kono T, Koderu M, Sakai K, Nakanishi T, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujimoto M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, [Ihn H](#). The wound/ burn guidelines – 5: Guidelines for management of lower leg ulcers/ varicose veins. *J Dermatol*,43, 853-68,2016
32. Fujimoto M, Asano Y, Ishii T, Ogawa F, Kawakami T, Koderu M, Abe M, Isei T, Ito T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Kadono T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono

- T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H. The wound/ burn guidelines – 4: Guidelines for management of skin ulcers associated with connective tissue disease/ vasculitis. *J Dermatol*,43, 729-57,2016
33. Isei T, Abe M, Nakanishi T, Matsuo K, Yamasaki O, Asano Y, Ishii T, Ito T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Ogawa F, Kadono T, Koder M, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakamura Y, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujimoto M, Fujiwara H, Maekawa T, Madokoro N, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H. The wound/ burn guidelines – 3: Guidelines for the diagnosis and treatment for diabetic ulcer/gangrene. *J Dermatol*,43, 591-619,2016
 34. Tachibana T, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Kadono T, Fujiwara H, Asano Y, Abe M, Ishii T, Isei T, Ito T, Inoue Y, Ohtsuka M, Ogawa F, Koder M, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujimoto M, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Le Pavoux A, Ihn H. The wound/ burn guidelines – 2: Guidelines for the diagnosis and treatment for pressure ulcers. *J Dermatol*, 43, 469-506,2016
 35. Inoue Y, Hasegawa M, Maekawa T, Le Pavoux A, Asano Y, Abe M, Ishii T, Ito T, Isei T, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Ogawa F, Kadono T, Koder M, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hashimoto A, Hayashi M, Fujimoto M, Fujiwara H, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Tachibana T, Ihn H. The wound/ burn guidelines – 1: Wounds in general. *J Dermatol*,43, 357-375,2016
 36. Yamada S, Kajihara I, Johno T, Fukushima S, Jinnin M, Masunaga A, Kohrogi H, Ihn H. Symptomless pulmonary cryptococcosis in a psoriatic arthritis patient during infliximab therapy. *Ann Dermatol*,28, 357-75,2016
 37. Miyashita A, Fukushima S, Nakahara S, Kubo Y, Tokuzumi A, Yamashita J, Aoi J, Haruta M, Senju S, Nishimura Y, Jinnin M, Ihn H. Immunotherapy against metastatic melanoma with human iPS cell-derived myeloid cell lines producing type I interferons. *Cancer Immunol Res*, 4, 248-58,2016
 38. Wang Z, Jinnin M, Nakamura K, Harada M, Kudo H, Nakayama W, Inoue K, Nakashima T, Honda N, Fukushima S, Ihn H. Long non-coding RNA TSIX is up-regulated in scleroderma dermal fibroblasts and controls collagen mRNA stabilization. *Exp Dermatol*, 25, 131-6,2016
 39. Goto Y, Yajima I, Kumasaka M, Ohgami N, Tanaka A, Tsuzuki T, Inoue Y, Fukushima S, Ihn H, Kyoya M, Ohashi H, Kawakami T, Bennet DC, Kato M. Transcription factor LSF (TFCP2) inhibits melanoma growth. *Oncotarget*,7, 2379-90,2016
 40. Ichigozaki Y, Fukushima S, Jinnin M, Miyashita A, Nakahara S, Tokuzumi A, Yamashita J, Kajihara I, Aoi J, Masuguchi S, Wang Z, Ihn H. Serum long non-coding RNA, snoRNA host gene 5 level as a new tumor marker of malignant melanoma. *Exp Dermatol*, 25, 67-69,2016

41. Ihn H, Fibrosis: Overview. Systemic sclerosis basic and Translational Research (Springer), 1~20,2016
42. Fukushima S, Motoyama K, Tanida Y, Higashi T, Ishitsuka Y, Kondo Y, Irie T, Tanaka T, Ihn H, Arima H. Clinical evaluation of novel natural polysaccharides Sacran as a skincare material for atopic dermatitis patients. J Cosmetics, Dermatological Sciences and Applications. 6, 9~18,2016
43. 長谷川 稔、石川 治、浅野善英、佐藤伸一、神人正寿、竹原和彦、藤本 学、山本俊幸、尹 浩信。硬化性萎縮性苔癬 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン, 日本皮膚科学会雑誌, 126, 2251-2257,2016
44. 神人正寿、山本俊幸、浅野善英、石川 治、佐藤伸一、竹原和彦、長谷川 稔、藤本 学、尹 浩信。好酸球性筋膜炎 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン, 日本皮膚科学会雑誌, 126, 2241-2250,2016
45. 野田知香、梶原一亨、谷川広紀、境 恵祐、福島 聡、神人正寿、尹 浩信。S 状結腸癌を合併した落葉状天疱瘡の 1 例。皮膚臨床, 58, 1525-1528,2016
46. 澤村創一郎、吉野雄一郎、藤澤明彦、鶴田美菜、山田早織、永元英子、尹 浩信。過去 3 年間に熊本赤十字病院を受診した熱傷患者 1,700 例の検討, 126, 2109-2116,2016
47. 浅野善英、藤本 学、石川 治、佐藤伸一、神人正寿、竹原和彦、長谷川 稔、山本俊幸、尹 浩信。限局性強皮症 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン, 日本皮膚科学会雑誌, 126, 2039-2067,2016
48. 浅野善英、神人正寿、川口鎮司、桑名正隆、後藤大輔、佐藤伸一、竹原和彦、波多野将、藤本 学、麦井直樹、尹 浩信。全身性強皮症 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン, 日本皮膚科学会雑誌, 126, 1831-1896,2016
49. 山内 恵、牧野雄成、牧野貴充、福島 聡、神人正寿、尹 浩信。シクロホスファミド大量静注療法とアザチオプリンの併用が奏効した全身性強皮症に伴う間質性肺病変の 1 例。西日本皮膚科, 78, 356-361,2016
50. 中村香代、梶原一亨、永元英子、緒方亜紀、牧野公治、岡本 実、尹 浩信。下肢蜂窩織炎患者において超音波検査は慢性静脈不全症のスクリーニングとして有用である。皮膚臨床 58, 1259-1264,2016
51. 徳澄亜紀、城野昌義、丸尾圭志、富安真二郎、山中 剛、尹 浩信。抗 TIF1 抗体陽性の皮膚筋炎において順次明らかとなった多彩な皮疹・重複胃癌・嚥下障害-5 年間治療観察した症例-, 西日本皮膚科, 78, 234-238,2016
52. 澤村創一郎、市原麻子、鶴田美菜、神人正寿、尹 浩信。強膜炎を合併した壊疽性膿皮症の 1 例。皮膚臨床, 58, 401-403,2016
53. 尹 浩信、立花隆夫、向井秀樹、浅井俊弥。熱傷の治療と熱傷診療の課題-熱傷ガイドラインについて-, 皮膚診療, 38, 198-205,2016
54. 尹 浩信。生物学的製剤による乾癬治療。J Environ Dermatol Cutan Allergol, 10, 519-522,2016
55. 尹 浩信。皮膚老化の分子メカニズム。加齢皮膚医学セミナー, 11, 1~2,2016
56. 尹 浩信。強皮症 診断基準。強皮症の基礎と臨床, 80-84,2016
57. 尹 浩信。診療ガイドラインの活用法。皮膚科研修ノート, 20-21,2016
58. 尹 浩信。全身性強皮症の診断と鑑別診断。リウマチ科, 55, 251-254,2016

59. 尹 浩信。褥瘡病期分類と創傷治癒。WOC Nursing, 4,4-13,2016
60. Yamashita T, Asano Y, Taniguchi T, Nakamura K, Saigusa R, Miura S, Toyama T, Takahashi T, Ichimura Y, Yoshizaki A, Trojanowska M, Sato S. Glycyrrhizin ameliorates fibrosis, vasculopathy, and inflammation in animal models of systemic sclerosis. *J Invest Dermatol*, in press
61. Saigusa R, Asano Y, Nakamura K, Yamashita T, Ichimura Y, Takahashi T, Toyama T, Taniguchi T, Yoshizaki A, Miyazaki M, Tamaki Z, Sato S. Plasma plasmin- α 2-plasmin inhibitor complex levels may predict the effect of cyclophosphamide for systemic sclerosis-related interstitial lung disease. *Mod Rheumatol*, 13,1-5,2016
62. Takahashi T, Asano Y, Nakamura K, Yamashita T, Saigusa R, Ichimura Y, Toyama T, Taniguchi T, Yoshizaki A, Miyazaki M, Tamaki Z, Sato S. A potential contribution of antimicrobial peptide LL-37 to tissue fibrosis and vasculopathy in systemic sclerosis. *Br J Dermatol*, 175(6), 1195-1203,2016
63. Toyama T, Asano Y, Akamata K, Noda S, Taniguchi T, Takahashi T, Ichimura Y, Shudo K, Sato S, Kadono T. Tamibarotene ameliorates bleomycin-induced dermal fibrosis by modulating phenotypes of fibroblasts, endothelial cells, and immune cells. *J Invest Dermatol*, 136, 387-98,2016
64. Saigusa R, Asano Y, Nakamura K, Yamashita T, Ichimura Y, Takahashi T, Toyama T, Taniguchi T, Yoshizaki A, Miyazaki M, Tamaki Z, Sato S. Association of anti-RNA polymerase III antibody and silicone breast implants in patients with systemic sclerosis. *J Dermatol*,43, 808-10,2016
65. Nakamura K, Asano Y, Taniguchi T, Minatsuki S, Inaba T, Maki H, Hatano M, Yamashita T, Saigusa R, Ichimura Y, Takahashi T, Toyama T, Yoshizaki A, Miyagaki T, Sugaya M, Sato S. Serum levels of interleukin-18-binding protein isoform a: Clinical association with inflammation and pulmonary hypertension in systemic sclerosis. *J Dermatol*,43,912-8,2016
66. Nakamura K, Yoshizaki A, Takahashi T, Saigusa R, Taniguchi T, Asano Y, Gono W, Hinata M, Shinozaki-Ushiku A, Sato S. The first case report of fatal acute pulmonary dysfunction in a systemic sclerosis patient treated with rituximab. *Scand J Rheumatol*,45, 249-50,2016
67. Ebata S, Yoshizaki A, Fukasawa T, Nakamura K, Yamashita T, Miura S, Saigusa R, Ichimura Y, Takahashi T, Hirabayashi M, Taniguchi T, Akamata K, Asano Y, Sato S. Unprecedented success of rituximab therapy for prednisolone- and immunosuppressant-resistant systemic sclerosis-associated interstitial lung disease. *Scand J Rheumatol*, in press
68. Yamashita T, Asano Y, Taniguchi T, Nakamura K, Saigusa R, Takahashi T, Ichimura Y, Toyama T, Yoshizaki A, Miyagaki T, Sugaya M, Sato S. A potential contribution of altered cathepsin L expression to the development of dermal fibrosis and vasculopathy in systemic sclerosis. *Exp Dermatol*,25, 287-92,2016
69. Yoshizaki A, Taniguchi T, Saigusa R, Fukasawa T, Ebata S, Numajiri H, Nakamura K, Yamashita T, Takahashi T, Toyama T, Asano Y, Tedder TF, Sato S. Nucleosome in patients with systemic sclerosis: possible association with immunological abnormalities via abnormal activation of T and B cells. *Ann Rheum Dis*, 75, 1858-65,2016

70. Saigusa R, Asano Y, Yamashita T, Taniguchi T, Takahashi T, Ichimura Y, Toyama T, Yoshizaki A, Miyagaki T, Sugaya M, Sato S. Fli1 deficiency contributes to the downregulation of endothelial protein C receptor in systemic sclerosis: a possible role in prothrombotic conditions. *Br J Dermatol*, 174, 338-47,2016
71. Takahashi T,Asano Y, Oka T, Miyagaki T, Tamaki Z, Nonaka S, Sato S. Scleroderma en coup de sabre with recurrent episodes of brain hemorrhage. *J Dermatol*,43,206-6,2016
72. Wu CY, Asano Y, Taniguchi T, Sato S, Yu HS. Serum level of circulating syndecan-1: A possible association with proliferative. *J Dermatol*,43,63-6,2016
73. Uehara A, Motegi S, Yamada K, Uchiyama A, Perera B, Toki S, Ogino S, Yokoyama Y, Takeuchi Y, Ishikawa O. Mechanistic insight into the norepinephrine-induced fibrosis in systemic sclerosis. *Scientific Reports*. 6,34012,2016
74. Motegi S, Sekiguchi A, Fujiwara C, Toki S, Ishikawa O. A possible association of elevated serum collagen type IV level with skin sclerosis in systemic sclerosis. *Journal of Dermatology*,in press
75. Motegi S, Sekiguchi A, Toki S, Amano H, Ishikawa O. Progressive myelopathy in systemic sclerosis patient with cervical intraspinal calcinosis. *Journal of Dermatology*.in press
76. Motegi S, Yamada K, Toki S, Uchiyama A, Kubota Y, Nakamura T, Ishikawa O. Beneficial effect of botulinum toxin A on Raynaud's phenomenon in Japanese patients with systemic sclerosis: a prospective, case series study. *Journal of Dermatology*.56-62,2016
77. Yamakoshi Y, Motegi S, Ishikawa O. Evaluation of peripheral blood circulation disorder in scleroderma patients using an optical sensor with a pressurization mechanism. *PloS one*.11, e0159611,2016
78. 茂木精一郎。全身性強皮症の末梢血管障害の特徴と治療。西日本皮膚科,78, 343-346,2016
79. 茂木精一郎。総説 全身性強皮症の血管病変。Visual Dermatology,15,32-6,2016
80. 関口明子、茂木精一郎、石川 治。外陰部硬化性萎縮性苔癬の3例。皮膚臨床,58,1861-4,2016
81. Wang Z, Nakamura K, Jinnin M, Kudo H, Goto M, Era T, Kira T, Nakashima T, Fukushima S, Ihn H. Establishment and gene expression analysis of disease-derived induced pluripotent stem cells of scleroderma. *J Dermatol Sci*. S0923-1811(16),30176-1,2016
82. Masahiro Kamo, Hiroshi Tateishi, Ryoko Koga, Yoshinari Okamoto, Masami Otsuka, Mikako Fujita. Synthesis of the biotinylated anti-HIV compound BMMP and the target identification study. *Bioorg. Med. Chem. Lett*.26,43-5,2016
83. Mohamed O. Radwan, Sachiko Sonoda, Tomohiko Ejima, Ayumi Tanaka, Ryoko Koga, Yoshinari Okamoto, Mikako Fujita, Masami Otsuka, Zinc-mediated binding of a low-molecular-weight stabilizer of the host anti-viral factor apolipoprotein B mRNA-editing enzyme, catalytic polypeptide-like 3G. *Bioorg. Med. Chem*.264,4398-4405,2016
84. Saito S, Ishii T, Kamogawa Y, Watanabe R, Shirai T, Fujita Y, Shirota Y, Fujii H, Ito K, Shimokawa H, Yamaguchi T, Kawaguchi Y, Harigae H. Extracorporeal shock wave therapy for digital ulcers of systemic sclerosis: a phase 2 pilot study. *Tohoku J Exp Med*.238,39-47,2016

85. Kawasumi H, Gono T, Tanaka E, Kaneko H, Kawaguchi Y, Yamanaka H. Clinical characteristics and cytokine profiles of organizing pneumonia in patients with rheumatoid arthritis treated with or without biologics. *J Rheumatol*,43,738-44,2016
86. 川口鎮司. 膠原病に伴う第1群肺動脈性肺高血圧症の治療成績（海外と比較して）, *Pulmonary Hypertension Update*,2,28-33,2016
87. Morita S, Shima Y, Wing JB, Sakaguchi S, Ogata A, Kumanogoh A. The Proportion of Regulatory T Cells in Patients with Rheumatoid Arthritis: A Meta-Analysis. *PLoS One*. in press.
88. Ito D, Kumanogoh A. The role of Sema4A in angiogenesis, immune responses, carcinogenesis, and retinal systems. *Cell Adh Migr*, in press.
89. Kuwana M, Shirai Y, and Takeuchi T. Elevated serum Krebs von den Lungen-6 in early disease predicts subsequent deterioration of pulmonary function in patients with systemic sclerosis and interstitial lung disease. *J. Rheumatol.* 43(10),1825-31,2016
90. Hamaguchi Y, Sumida T, Kawaguchi Y, Ihn H, Tanaka S, Asano Y, Motegi S, Kuwana M, Endo H, and Takehara K. Safety and tolerability of bosentan for digital ulcers in Japanese patients with systemic sclerosis: prospective, multicenter, open-label study. *J. Dermatol.* 44(1),13-7,2017
91. Coghlan JG, Galiè N, Barberà JA, Frost AE, Ghofrani HA, Hoeper MM, Kuwana M, McLaughlin VV, Peacock AJ, Simonneau G, Vachiéry JL, Blair C, Gillies H, Miller KL, Harris JHN, Langley J, and Rubin LJ. Initial combination therapy with ambrisentan and tadalafil in connective tissue disease-associated pulmonary arterial hypertension (CTD-PAH): subgroup analysis from the AMBITION trial. *Ann. Rheum*, in press.
92. 桑名正隆. 全身性強皮症, *内科*, 117(4),901-7,2016
93. 桑名正隆. 全身性硬化症(強皮症)の早期診断と治療, *日本内科学会雑誌*, 105(9),1864-9,2016
94. 桑名正隆. 強皮症の自然歴と早期診断, *週間 医学のあゆみ*, 258(10),945-50,2016
95. Segawa S, Goto D, Iizuka A, Kaneko S, Yokosawa M, Kondo Y, Matsumoto I, Sumida T. The regulatory role of interferon- γ producing gamma delta T cells via the suppression of T helper 17 cell activity in bleomycin-induced pulmonary fibrosis. *Clin Exp Immunol.* 185.348-60.2016
96. Nakamura K, Jinnin M, Harada M, Kudo H, Nakayama W, Inoue K, Ogata A, Kajihara I, Fukushima S, Ihn H. Altered expression of CD63 and exosomes in scleroderma dermal fibroblasts. *J Dermatol Sci.* 84.30-9.2016
97. Wang Z, Nakamura K, Jinnin M, Kudo H, Goto M, Era T, Kira T, Nakashima T, Fukushima S, Ihn H. Establishment and gene expression analysis of disease-derived induced pluripotent stem cells of scleroderma. *J Dermatol Sci.* 84(2),186-96,2016
98. Nakayama W, Jinnin M, Tomizawa Y, Nakamura K, Kudo H, Inoue K, Makino K, Honda N, Kajihara I, Fukushima S, Ihn H. Dysregulated interleukin-23 signalling contributes to the increased collagen production in scleroderma fibroblasts via balancing microRNA expression. *Rheumatology*. in press.
99. Washio M, Takahashi H, Kobashi G, Kiyohara C, Tada Y, Asami T, Ide Y, Atsumi T, Horiuchi T; Kyushu Sapporo SLE (KYSS) Study Group. Risk factors for development of systemic lupus

- erythematosus among Japanese females: medical history and reproductive factors. *Int J Rheum Dis*, Epub ahead of print.
100. Matsushita T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Takehara K, Fujimoto M. Decreased levels of regulatory B cells in patients with systemic sclerosis: association with autoantibody production and disease activity. *Rheumatology (Oxford)*. 55(2),263-7,2016
 101. Mugii N, Hasegawa M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Oohata S, Okita H, Yahata T, Someya F, Inoue K, Muroso S, Fujimoto M, Takehara K. Oropharyngeal Dysphagia in Dermatomyositis: Associations with Clinical and Laboratory Features Including Autoantibodies. *PLoS One*.10, e0154746,2016
 102. Merola JF, Nyberg F, Furukawa F, Goodfield MJ, Hasegawa M, Marinovic B, Szepietowski J, Dutz J, Werth VP. Redefining cutaneous lupus erythematosus: a proposed international consensus approach and results of a preliminary questionnaire. *Lupus Sci Med*. 2(1), e000085,2015
 103. Hamaguchi Y, Kodera M, Matsushita T, Hasegawa M, Inaba Y, Usuda T, Kuwana M, Takehara K, Fujimoto M. Clinical and immunologic predictors of scleroderma renal crisis in Japanese systemic sclerosis patients with anti-RNA polymerase III autoantibodies. *Arthritis Rheumatol*. 67(4),1045-52,2015
 104. Matsushita T, Le Huu D, Kobayashi T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Naka K, Hirao A, Muramatsu M, Takehara K, Fujimoto M. A novel splenic B1 regulatory cell subset suppresses allergic disease through phosphatidylinositol 3-kinase-Akt pathway activation. *J Allergy Clin Immunol*. 138(4),1170-82,2016
 105. Furukawa H, Oka S, Kawasaki A, Shimada K, Sugii S, Matsushita T, Hashimoto A, Komiya A, Fukui N, Kobayashi K, Osada A, Ihata A, Kondo Y, Nagai T, Setoguchi K, Okamoto A, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Kono H, Katayama M, Hirohata S, Sumida T, Migita K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S, Nagaoka S, Takehara K, Tohma S, Tsuchiya N. Human Leukocyte Antigen and Systemic Sclerosis in Japanese: The Sign of the Four Independent Protective Alleles, DRB1*13:02, DRB1*14:06, DQB1*03:01, and DPB1*02:01. *PLOS one*. 11(4), e0154255,2016
 106. Matsushita T, Mizumaki K, Kano M, Yagi N, Tennichi M, Takeuchi A, Okamoto Y, Hamaguchi YO, Murakami A, Hasegawa M, Kuwana M, Fujimoto M, Takehara K. Anti-MDA5 antibody level is a novel tool for monitoring disease activity in rapidly progressive interstitial lung disease with dermatomyositis. *Br J Dermatol*. Epub ahead of print.
 107. 高嶋 渉、長谷川稔。皮膚硬化型 GVHD, *Visual Dermatology*, 15(1),50-1,2015
 108. Hasegawa M. Biomarkers in systemic sclerosis:their potential to predict clinical courses. *J Dermatol*. 43(1),29-38,2015
 109. Hasegawa M. Use of dermoscopy in the evaluation of connective tissue diseases. *Dermatol Clin Res*. 1(3),41-8,2015
 110. 長谷川稔。全身性強皮症とその鑑別疾患. *Visual Dermatology*. 15(1),14-6,2015
 111. 長谷川稔。膠原病による皮膚病変. 成人病と生活習慣病(増大号), 46(1),34-40,2016

112. 長谷川稔。全身性強皮症における爪郭部のダーモスコピー所見, 臨床皮膚科, 70(5)増刊号,70-4,2016
113. 長谷川稔。ホスホジエステラーゼ 5 阻害薬, 皮膚科の臨床(皮膚科の薬剤と医療機器 最近 10 年間の進歩), 58(6)5 月臨時増刊号,978-982,2016
114. 長谷川稔。全身性強皮症の臨床研究: 予後改善に向けて, 金沢大学十全医学会雑誌,125(1),23-4,2016
115. Fujimoto M, Asano Y, Ishii T, Ogawa F, Kawakami T, Koderia M, Abe M, Isei T, Ito T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Kadono T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H; Wound/Burn Guidelines Committee. The wound/burn guidelines - 4: Guidelines for the management of skin ulcers associated with connective tissue disease/vasculitis. *J Dermatol.*43,729-57,2016
116. Matsushita T, Hasegawa M, Takehara K. Watermelon stomach and colon in a patient with diffuse cutaneous systemic sclerosis. *Mod Rheumatol.*in press.
117. Fukada I, Araki K, Kobayashi K, Shibayama T, Hatano M, Takahashi S, Iwase T, Ohno S, Ito Y. Imatinib could be a new strategy for pulmonary hypertension caused by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy in metastatic breast cancer. *Springerplus*,15, doi: 10.1186/s40064-016-3280-4,2016
118. Amiya E, Morita H, Hatano M, Nitta D, Hosoya Y, Maki H, Motozawa Y, Sato N, Ishiura H, Numakura S, Shintani Y, Kinugawa K, Takeda N, Shimizu J, Tsuji S, Komuro I. Fukutin gene mutations that cause left ventricular noncompaction. *Int J Cardiol.*222,727-9,2016
119. Maemura S, Amiya E, Seki H, Ueda K, Nitta D, Imamura T, Uehara M, Kawata T, Watanabe M, Hatano M, Kinugawa K, Komuro I. Endomyocardial Fibrosis Associated With Apical Calcification and High Uptake on Myocardial Gallium-67 Scintigraphy. *Circ J*,80,2053-5,2016
120. Tahara N, Dobashi H, Fukuda K, Funauchi M, Hatano M, Ikeda S, Joho S, Kihara Y, Kimura T, Kondo T, Matsushita M, Minamino T, Nakanishi N, Ozaki Y, Saji T, Sakai S, Tanabe N, Watanabe H, Yamada H, Yoshioka K, Sasayama S. Efficacy and Safety of a Novel Endothelin Receptor Antagonist, Macitentan, in Japanese Patients With Pulmonary Arterial Hypertension. *Circ J*,80,1478-83,2016
121. Nitta D, Kinugawa K, Imamura T, Endo M, Amiya E, Hatano M, Takahashi Y, Iriyama T, Kinoshita O, Nagamatsu T, Nawata K, Ono M, Komuro I. Successful Pregnancy and Delivery in a Heart Transplantation Recipient. *Int Heart J*,57,383-5,2016
122. Hatano M. Potential of Receptor for Advanced Glycation End-Products (RAGE) as an Eligible Biomarker for Therapy Evaluation in Patients With Pulmonary Hypertension. *Int Heart J*,57,132-3,2016
123. Nakamura K, Asano Y, Taniguchi T, Minatsuki S, Inaba T, Maki H, Hatano M, Yamashita T, Saigusa R, Ichimura Y, Takahashi T, Toyama T, Yoshizaki A, Miyagaki T, Sugaya M, Sato S. Serum levels of interleukin-18-binding protein isoform a: Clinical association with

- inflammation and pulmonary hypertension in systemic sclerosis. *J Dermatol*,43,912-8,2016
124. Niwa R, Hasumi E, Fujiu K, Uehara M, Nitta D, Hatano M, Akazawa H, Watanabe M, Komuro I. A Case of Multiple Coronary Artery-Left Ventricular Micro Fistulae Complicated With Hepatic Arteriovenous Fistulae. *Int Heart J*,57,123-6,2016
125. Nitta D, Kinugawa K, Imamura T, Endo M, Inaba T, Maki H, Amiya E, Hatano M, Kinoshita O, Nawata K, Kyo S, Ono M. Novel Scoring System to Predict Ineligibility for Bridge to Implantable Left Ventricular Assist Device as Destination Therapy Before Extracorporeal Ventricular Assist Device Implantation - For the Coming Era of Destination Therapy in Japan. *Circ J*,80,387-394,2016
126. 波多野将。この症例は本当に特発性肺動脈性肺高血圧症でよいか？－診断がその後の治療経過を大きく左右する－, *内科*,117,788-92,2016
127. 波多野将。epoprostenol 持続静注開始後に酸素化の悪化を認めた重症肺高血圧症, *内科*,117,793-6,2016
128. 波多野将。静注, 皮下注製剤と吸入薬, *Pulmonary Hypertension Update*,2,30-6,2016
129. 波多野将。心筋症の治療はどのように行いますか?, *ハートナーシング*,29,85-7,2016
130. 波多野将。心筋症の患者さんの予後はどのくらい悪いのでしょうか?, *ハートナーシング*, 29,88-9,2016
131. 波多野将。心臓移植が必要な心筋症患者さんはどのような人でしょうか? *ハートナーシング*,29,90,2016
132. 波多野将。心筋症と診断された患者さんへの指導で、注意すべきことはありますか? *ハートナーシング*,29,91,2016
133. 全身性強皮症 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン委員会。全身性強皮症 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン, *日皮会誌*,126(10),1831-96,2016
134. 限局性強皮症 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン委員会。限局性強皮症 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン, *日皮会誌*,126(11),2039-67,2016
135. Fujimoto M, Asano Y, Ishii T, Ogawa F, Kawakami T, Koderu M, Abe M, Isei T, Ito T, Inoue Y, Imafuku S, Irisawa R, Ohtsuka M, Ohtsuka M, Kadono T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Sakai K, Takahara M, Tanioka M, Nakanishi T, Nakamura Y, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yamasaki O, Yoshino Y, Le Pavoux A, Tachibana T, Ihn H; Wound/Burn Guidelines Committee. The wound/burn guidelines - 4: Guidelines for the management of skin ulcers associated with connective tissue disease/vasculitis, *J Dermatol*.43,729-57,2016
136. Fujimoto M, Murakami A, Kurei S, Okiyama N, Kawakami A, Mishima M, Sato S, Seishima M, Suda T, Mimori T, Takehara K, Kuwana M. Enzyme-linked immunosorbent assays for detection of anti-transcriptional intermediary factor-1 gamma and anti-Mi-2 autoantibodies in dermatomyositis. *J Dermatol Sci*. 84(3),272-81,2016
137. Takeuchi A, Matsushita T, Kaji K, Okamoto Y, Yasui M, Hirata M, Oishi N, Higashi A, Seishima M, Asano T, Fujimoto M, Kuwana M, Takehara K, Hamaguchi Y. Autoantibody to scaffold attachment factor B (SAFB): A novel connective tissue disease-related autoantibody associated with interstitial lung disease. *J Autoimmun*.76,101-7,2017

138. Togawa R, Tanino Y, Nikaido T, Fukuhara N, Uematsu M, Misa K, Sato Y, Matsuda N, Sugiura Y, Namatame S, Kobayashi H, Hamaguchi Y, [Fujimoto M](#), Kuwana M, Munakata M. Three cases of interstitial pneumonia with anti-signal recognition particle antibody. *Allergol Int*. Epub ahead of print
139. Ogawa T, Okiyama N, Koguchi-Yoshioka H, [Fujimoto M](#). Taxane-induced scleroderma-like skin changes resulting in gangrene: A case report. *J Dermatol*. Epub ahead of print
140. Inoue S, Okiyama N, Okune M, Shiraki N, Kessoku R, [Fujimoto M](#). Clinical and histological characteristics of livedo racemosa in essential thrombocythemia: A report of two cases and review of the published works. *J Dermatol*. 44(1), July 7, 2017
141. Matsushita T, Mizumaki K, Kano M, Yagi N, Tennichi M, Takeuchi A, Okamoto Y, Hamaguchi YO, Murakami A, Hasegawa M, Kuwana M, [Fujimoto M](#), Takehara K. Anti-MDA5 antibody level is a novel tool for monitoring disease activity in rapidly progressive interstitial lung disease with dermatomyositis. *Br J Dermatol*. Epub ahead of print
142. Ang CC, Anyanwu CO, Robinson E, Okawa J, Feng R, [Fujimoto M](#), Hamaguchi Y, Werth VP. Clinical signs associated with an increased risk of interstitial lung disease: a retrospective study of 101 patients with dermatomyositis. *Br J Dermatol*. Epub ahead of print
143. [Fujimoto M](#), Watanabe R, Ishitsuka Y, Okiyama N. Recent advances in dermatomyositis-specific autoantibodies. *Curr Opin Rheumatology*. 28(6), 636-44, 2016
144. Matsushita T, Le Huu D, Kobayashi T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Naka K, Hirao A, Muramatsu M, Takehara K, [Fujimoto M](#). A novel splenic B1 regulatory cell subset suppresses allergic disease through phosphatidylinositol 3-kinase-Akt pathway activation. *Allergy Clin Immunol*. 138(4), 1170-82, 2016
145. Shibao K, Okiyama N, Maruyama H, Furuta J, [Fujimoto M](#). Scleroderma-like skin changes occurring after the use of paclitaxel without any chemical solvents: a first case report. *Eur J Dermatol*. 26(3), 317-8, 2016
146. Mugii N, Hasegawa M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Oohata S, Okita H, Yahata T, Someya F, Inoue K, Muroso S, [Fujimoto M](#), Takehara K. Oropharyngeal Dysphagia in Dermatomyositis: Associations with Clinical and Laboratory Features Including Autoantibodies. *PLoS One*. 11(5), e0154746, 2016
147. Saito A, Okiyama N, Maruyama H, [Fujimoto M](#). Immunoglobulin A vasculitis associated with HIV infection. *J Dermatol*. 43(4), 444-5, 2016
148. Sato S, Murakami A, Kuwajima A, Takehara K, Mimori T, Kawakami A, Mishima M, Suda T, Seishima M, [Fujimoto M](#), Kuwana M. Clinical Utility of an Enzyme-Linked Immunosorbent Assay for Detecting Anti-Melanoma Differentiation-Associated Gene 5 Autoantibodies. *PLoS One*. 11(4), e0154285, 2016
149. Furukawa H, Oka S, Kawasaki A, Shimada K, Sugii S, Matsushita T, Hashimoto A, Komiya A, Fukui N, Kobayashi K, Osada A, Ihata A, Kondo Y, Nagai T, Setoguchi K, Okamoto A, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Kono H, Katayama M, Hirohata S, Sumida T, Migita K, Hasegawa M, [Fujimoto M](#), Sato S, Nagaoka S, Takehara K, Tohma S, Tsuchiya N. Human Leukocyte Antigen and Systemic Sclerosis in Japanese: The Sign of the Four Independent

- Protective Alleles, DRB1*13:02, DRB1*14:06, DQB1*03:01, and DPB1*02:01. *PLoS One*. 11(4), e0154255,2016
150. Yang L, Murota H, Shindo S, Yang F, Serada S, Fujimoto M, Naka T, Katayama I. Increased serum CXCR2 ligand levels in livedo vasculopathy with winter ulcerations: Possible contribution of neutrophil recruitment to lesional skin. *J Dermatol Sci*. 82(1),57-9,2016
151. Hiraiwa T, Mori T, Ohashi T, Hanami Y, Yamamoto T. Eosinophilic fasciitis with severe joint contracture in a patient with bladder cancer and B-cell lymphoma. *J Dermatol*. 43,68-9,2016
152. Hanami Y, Ohtsuka M, Yamamoto T. Paraneoplastic eosinophilic fasciitis with generalized morphea and vitiligo in a patient working with organic solvents. *J Dermatol*. 43,67-8,2016
153. Ohyama K, Baba M, Tamai M, Yamamoto M, Ichinose K, Kishikawa N, Takahashi H, Kawakami A, Kuroda N. Immune complexome analysis of antigens in circulating immune complexes isolated from patients with IgG4-related dacryoadenitis and/or sialadenitis. *Mod Rheumatol*. 26(2),248-50,2016
154. Yasui K, Yuda S, Abe K, Muranaka A, Otsuka M, Ohnishi H, Hashimoto A, Takahashi H, Tsuchihashi K, Takahashi H, Takahashi S, Miura T. Pulmonary vascular resistance estimated by Doppler echocardiography predicts mortality in patients with interstitial lung disease. *J Cardiol*,68,300-7,2016
155. 前島 英樹, 度会 晃, 三井 純雪, 田中住明, 立石 毅。DLE を併発した C1 inhibitor 欠損症, 皮膚病診療, 38(6),583-6,2016
156. Wada Tatsuhiko, Abe Gakurou, Kudou Takeo, Ogawa Eisuke, Nagai Tatsuo, Tanaka Sumiaki, Hirohata Shunsei. Liver damage in patients with polymyositis and dermatomyositis. *The Kitasato Medical Journal*, 46(1),40-6,2016
157. Hamaguchi, Y. Sumida, T., Kawaguchi, Y., Ihn, H., Tanaka, S., Asano, Y., Motegi, S. I., Kuwana, M., Endo, H., Takehara, K. Safety and tolerability of bosentan for digital ulcers in Japanese patients with systemic sclerosis: Prospective, multicenter, open-label study. *J Dermatol*. 44,13-7,2017
158. 田中住明, 小川英佑。全身性強皮症の病態・診断および治療に関する最近の知見】強皮症における肺高血圧症の病態・診断・治療。リウマチ科, 55(3), 268-273,2016
159. 前島 英樹, 度会 晃, 三井 純雪, 田中住明, 立石 毅。DLE を併発した C1 inhibitor 欠損症, 皮膚病診療, 38(6), 583-6,2016
160. Oka S, Furukawa H, Shimada K, Sugii S, Hashimoto A, Komiya A, Fukui N, Suda A, Tsunoda S, Ito S, Katayama M, Nakamura T, Saisho K, Sano H, Migita K, Nagaoka S, Tsuchiya N, Tohma S. Association of human leukocyte antigen alleles with chronic lung diseases in rheumatoid arthritis. *Rheumatology*, 55(7),1301-7,2016
161. Furukawa H, Oka S, Kawasaki A, Shimada K, Sugii S, Matsushita T, Hashimoto A, Komiya A, Fukui N, Kobayashi K, Osada A, Ihata A, Kondo Y, Nagai T, Setoguchi K, Okamoto A, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Kono H, Katayama M, Hirohata S, Sumida T, Migita K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S, Nagaoka S, Takehara K, Tohma S, Tsuchiya N. Human leukocyte antigen and systemic sclerosis in Japanese: The sign of the four independent protective alleles, DRB1*13:02, DRB1*14:06, DQB1*03:01, and DPB1*02:01. *PLoS ONE*,

11(4), e0154255,2016

162. Kawasaki A, Hasebe N, Hidaka M, Hirano F, Sada K-e, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Yamagata K, Sumida T, Miyasaka N, Tohma S, Ozaki S, Matsuo S, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N. Protective role of HLA-DRB1*13:02 against microscopic polyangiitis and MPO-ANCA positive vasculitides in a Japanese population: a case-control study. *PLoS ONE*, 11(5), e0154393
163. 川崎綾、土屋尚之。全身性エリテマトーデスの病因-ゲノム解析からの知見。医学のあゆみ, 258(10),932-6,2016
164. Hachiya Y, Kawasaki A, Oka S, Kondo Y, Ito S, Matsumoto, Kusaoi M, Amano H, Suda A, Setoguchi K, Nagai T, Shimada K, Sugii S, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Ohno S, Katayama M, Kono H, Hirohata S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Nagaoka S, Tohma S, Furukawa H, Tsuchiya N. Association of HLA-G 3' untranslated region polymorphisms with systemic lupus erythematosus in a Japanese population: a case-control association study. *PLoS ONE*,11(6), e0158065,2016
165. Dang TN, Naka I, Sa-Ngasang A, Anantapreecha S, Wichukchinda N, Sawanpanyalert P, Patarapotikul J, Tsuchiya N, Ohashi J. Association of BAK1 single nucleotide polymorphism with a risk for dengue hemorrhagic fever. *BMC Med Genet*. 17(1),43,2016
166. Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Nakamura M, Komori A, Abiru S, Nagaoka S, Hashimoto S, Naganuma A, Naeshiro N, Yoshizawa K, Shimada M, Nishimura H, Tomizawa M, Kikuchi M, Makita F, Yamashita H, Ario K, Yatsushashi H, Tohma S, Kawasaki A, Ohira H, Tsuchiya N, Migita K. Association of a single nucleotide polymorphism upstream of ICOS with Japanese autoimmune hepatitis type 1. *J Hum Genet*, Epub ahead of print
167. Furukawa H, Oka S, Tsuchiya N, Shimada K, Hashimoto A, Tohma S, Kawasaki A. The role of common protective alleles, HLA-DRB1*13, among systemic autoimmune diseases. *Genes Immun*, Epub ahead of print
168. Tsuchiya N, Kawasaki A. Genetics of Systemic Sclerosis. In "Systemic Sclerosis: Basic and Translational Research" (edited by Takehara K, Kuwana M and Fujimoto M) 81-92,2016
169. Yamanaka K, Nakanishi T, Isono K, Hasegawa C, Inada H, Mizutani K, Matsushima Y, Okada K, Mabuchi T, Kondo M, Yamagiwa A, Kakeda M, Habe K, Nosaka T, Gabazza EC, Yamazaki H, Mizutani H, Kawano M. Restrictive IL-10 induction by an innocuous parainfluenza virus vector ameliorates nasal allergy. *J Allergy Clin Immunol*, Epub ahead of print
170. Higashiyama A, Yokoyama T, Omoto Y, Habe K, Yamanaka K, Mizutani H. Flutamide-induced photoleukoderma. *J Dermatol*, Epub ahead of print
171. Someya F, Mugii N, Oohata S. oral, Factors relating to impaired stroke volume during the 6-minute walk test in patients with systemic sclerosis. *Clinical and Experimental Rheumatology*. 34Supp, S152-S156,2016
172. Someya F, Nakagawa T, Mugii N. oral, The COPD Assessment Test as a Prognostic Marker in Interstitial Lung Disease. *Clin Med Insights Circ Respir Pulm Med*. 10,27-31,2016

173.Ikawa Y, Hamaguchi Y, Mugii N, Matsushita T, Takehara K. oral, Classification of Japanese patients with mild/early systemic sclerosis (SSc) by the 2013 ACR/EULAR classification criteria for SSc. Mod Rheumatol. Epub ahead of print

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

1. 創傷・熱傷ガイドラインについて～創傷の痛み：痛みのある皮膚の傷をどう治す？どう対処する？～,口頭,尹 浩信,信濃町皮膚ケアセミナー,2016.1.14,国内
2. 当科における皮膚潰瘍・壊疽に対して血管内治療を施行した全身性強皮症患者のまとめ,梶原一亨、牧野貴充、神人正寿、尹 浩信,厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班 2015 年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班 2015 年度班会議・第 19 回強皮症研究会合同会議, 2016.1.16,国内
3. A novel small compound that antagonizes TGF- β /Smad signaling ameliorates bleomycin-induced skin fibrosis,口頭, Vu Huy Luong、知野剛直、徳力 篤、尾山徳孝、長谷川稔、藤田美歌子、岡本良成、大塚雅巳、尹 浩信,厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班 2015 年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班 2015 年度班会議・第 19 回強皮症研究会合同会議, 2016.1.16,国内
4. 培養ヒト皮膚線維芽細胞における低分子化合物 (KL267) による抗線維化作用の検討,口頭,牧野貴充、神人正寿、本多教稔、牧野雄成、梶原一亨、大塚雅巳、尹 浩信,厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班 2015 年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班 2015 年度班会議・第 19 回強皮症研究会合同会議, 2016.1.16,国内
5. 疾患特異的 iPS 細胞を用いた、全身性強皮症皮膚線維芽細胞におけるコラーゲン過剰産生の機序の検討,口頭,王 中志、神人正寿、後藤瑞生、江良沢実、福島 聡、尹 浩信,厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班 2015 年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班 2015 年度班会議・第 19 回強皮症研究会合同会議, 2016.1.16,国内
6. HLA 領域における全身性強皮症を対象とした遺伝学的解析,口頭,岡 晃、石川 治、竹原和彦、藤本 学、長谷川 稔、桑名正隆、川口鎮司、山本俊幸、高橋裕樹、後藤大輔、佐藤伸一、浅野善英、遠藤平仁、神人正寿、尹 浩信,厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班 2015 年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班 2015 年度班会議・第 19 回強皮症研究会合同会議, 2016.1.16,国内
7. びまん皮膚硬化型全身性強皮症 (dcSSc) における皮膚硬化の進行を予測する因子の同定,口頭,桑名正隆、長谷川稔、白井悠一郎、石川 治、遠藤平仁、小川文秀、後藤大輔、佐藤伸一、尹 浩信、川口鎮司、竹原和彦、厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班 2015 年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班 2015 年度班会議・第 19 回強皮症研究会合同会議, 2016.1.16,国内

8. 当科における皮膚潰瘍・壊疽に対して血管内治療を施行した全身性強皮症患者のまとめ, 口頭, 梶原一亨、牧野貴充、神人正寿、尹 浩信, 第 39 回皮膚脈管・膠原病研究会, 2016.1.22, 国内
9. Red Tatio Reaction を呈した皮膚エリテマトーデス患者の 1 例, 口頭, 緒方亜紀、福島 聡、神人正寿、尹 浩信, 第 39 回皮膚脈管・膠原病研究会, 2016.1.22, 国内
10. 歯性病巣治療とトラニラスト内服が奏効した肉芽腫性口唇炎の 1 例, 口頭, 日本皮膚科学会岩手地方会学術大会第 373 回例会 赤坂俊英教授退任記念学会, 2016.2.6-7, 国内
11. 全身性強皮症の症状と治療: 特に手指潰瘍について, 口頭, 尹 浩信, 膠原病に伴う難治性病態を考える会, 2016.2.12, 国内
12. 当科で経験した好酸球性筋膜炎の 4 例, 口頭, 井上久仁子、鶴田美菜、金澤早織、牧野貴充、尹 浩信, 日本皮膚科学会第 76 回沖縄地方会上里 博 琉球大学皮膚科教授退任記念地方会, 2016.2.13-14, 国内
13. 背部褐色脂肪腫の 1 例, 口頭, 栗山春香、城野剛充、原田美穂、尹 浩信, 日本皮膚科学会第 217 回熊本地方会, 2016.2.28, 国内
14. 成長ホルモン注射針が破折し臀部皮下に迷入した 1 例, 口頭, 島田秀一、市原麻子、福島 聡、尹 浩信、間部裕代、河中功一, 日本皮膚科学会第 217 回熊本地方会, 2016.2.28, 国内
15. 蜂窩織炎との鑑別を要した播種性クリプトコッカス症の 1 例, 口頭, 石橋卓行、城野剛充、梶原一亨、尹 浩信, 日本皮膚科学会第 217 回熊本地方会, 2016.2.28, 国内
16. *Aspergillus flavus* による手指爪に生じた爪真菌症の 1 例, 口頭, 野口博光、比留間政太郎、牧野公治、宮下 梓、尹 浩信, 日本皮膚科学会第 217 回熊本地方会, 2016.2.28, 国内
17. SLE に合併した yellow nail syndrome の 1 例, 口頭, 木村俊寛、梶原一亨、松尾敦子、市原麻子、尹 浩信、廣佐古 進、古賀教将, 日本皮膚科学会第 217 回熊本地方会, 2016.2.28, 国内
18. 全身性強皮症の皮膚潰瘍に対するボセンタンの治療効果の検討, 口頭, 牧野貴充、梶原一亨、神人正寿、尹 浩信, 第 98 回日本皮膚科学会大分地方会藤原舩平教授退任記念, 2016.3.5, 国内
19. 膠原病の皮膚潰瘍～臨床症状と治療について, 尹 浩信, 神奈川県皮膚科医会第 150 回例会, 2016.3.6, 国内
20. 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン, 口頭, 尹 浩信, 荒尾市民病院講演会, 2016.3.31, 国内
21. 生物学的製剤の登場により劇的に変化した乾癬治療, 口頭, 尹 浩信, 県南乾癬治療学術講演会, 2016.5.19, 国内
22. Fli1-haploinsufficient dermal fibroblasts promote skin-localized transdifferentiation of Th2- and Th17-like regulatory T cells. oral, Saigusa R, Asano Y, Miyagawa T, Hirabayashi M, Nakamura K, Miura S, Yamashita T, Ichimura Y, Takahashi T, Toyama T, Taniguchi T, Yoshizaki A, Trojanowska M, Sato S. 2016 ACR/ARHP Annual Meeting, 2016.11.14, 国外
23. Fli1-deficient $\gamma\delta$ T cells augment tissue fibrosis and vasculopathy in a murine model of systemic sclerosis via the increased production of IL-17A. oral, Saigusa R, Asano Y, Miyagawa T, Hirabayashi M, Nakamura K, Miura S, Yamashita T, Ichimura Y, Takahashi T, Toyama T, Taniguchi T, Yoshizaki A, Trojanowska M, Sato S. The 41th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, 2016.12.11, 国内
24. A new animal model of systemic sclerosis exhibits delayed wound healing due to accelerated angiogenesis and defective vasculogenesis. oral, Nakamura K, Asano Y, Miyagawa T, Hirabayashi M, Yamashita T, Saigusa R, Miura S, Toyama T, Takahashi T, Ichimura Y,

- Taniguchi T, Yoshizaki A, Trojanowska M, Sato S. The 41th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, 2016.12.10,国内
25. Cyclophosphamide improves vascular abnormalities in endothelial cell-specific Fli1 knockout mice mimicking scleroderma-related vasculopathy.oral,Yamashita T, Asano Y, Miyagawa T, Hirabayashi M, Nakamura K, Saigusa R, Miura S, Toyama T, Takahashi T, Ichimura Y, Taniguchi T, Yoshizaki A, Trojanowska M, Sato S. The 41th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, 2016.12.9,国内
26. 全身性強皮症患者における血清IV型コラーゲン値の検討,口頭,関口明子、茂木精一郎、土岐清香、石川 治, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班 2016 年度班会議・第 19 回強皮症研究会議, 2016.1.16,国内
27. ブレオマイシン誘発強皮症モデルマウスの皮膚線維化・血管障害におけるアペリンの役割,口頭,横山 洋子、茂木精一郎、石川 治, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班 2016 年度班会議・第 19 回強皮症研究会議, 2016.1.16,国内
28. 全身性強皮症に伴うレイノー現象に対する A 型ボツリヌス毒素局所注射療法の効果・安全性について,口頭,茂木精一郎、山田和哉、土岐清香、中村哲也、石川 治, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班 2016 年度班会議・第 19 回強皮症研究会議, 2016.1.16,国内
29. 全身性強皮症の皮膚線維化・血管障害におけるアペリンの役割,口頭,茂木精一郎、横山 洋子、荻野 幸子、山田 和哉、内山 明彦、上原 顕仁、Buddhini Perera、関口 明子、石川 治, 第 23 回分子皮膚科学フォーラム, 2016.4.15,国内
30. 全身性強皮症の病態における 4 型コラーゲンの役割,口頭,関口明子、茂木精一郎、土岐清香、石川 治, 第 115 回日本皮膚科学会総会, 2016.6.3-5,国内
31. 強皮症に伴うレイノー現象に対する A 型ボツリヌス毒素注射療法：臨床試験と非臨床試験による解析,口頭,茂木精一郎、内山明彦、山田和哉、関口明子、土岐清香、中村哲也、石川 治, 第 115 回日本皮膚科学会総会, 2016.6.3-5,国内
32. 肺高血圧症を合併した全身性強皮症の臨床的特徴について,口頭,佐藤実紅、茂木精一郎、関口明子、土岐清香、石川 治, 第 115 回日本皮膚科学会総会, 2016.6.3-5,国内
33. 血管病変からみた全身性強皮症と皮膚筋炎,口頭,茂木精一郎, 大阪自己免疫性皮膚疾患セミナー, 2016.9.9,国内
34. 全身性強皮症に伴うレイノー現象・指尖部潰瘍に対するボツリヌス毒素注射療法,口頭,茂木精一郎, 第 3 回日本ボツリヌス治療学会学術大会, 2016.9.30,国内
35. 強皮症治療最前線,口頭, 茂木精一郎, 第 4 回群馬皮膚疾患セミナー, 2016.10.20, 国内
36. 全身性強皮症に伴う難治性皮膚潰瘍の治療,口頭,茂木精一郎, 第 67 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2016.10.22-23, 国内
37. 強皮症に伴うレイノー現象に対する B 型ボツリヌス毒素局所注入の効果・安全性について：ランダム化単盲検容量比較試験による検討,口頭,茂木精一郎、山田和哉、上原顕仁、関口明子、土岐清香、伊達佑生、中村哲也、石川 治, 第 80 回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 2016.10.29-30,国内

38. 全身性強皮症の皮膚線維化における分泌蛋白質 MFG-E8 の関与,口頭,藤原千紗子、上原顕仁、横山洋子、内山明彦、関口明子、Buddhini Perera、荻野幸子、鳥居良子、細井真理、石川 治、茂木精一郎,口頭, 第 23 回新群筑皮膚合同研究会, 2016.11.25,国内
39. 全身性強皮症の血管障害の病態と治療~手指潰瘍を中心に~,口頭,茂木精一郎, 第 2 回 Clinical Immunology Conference, 2016.11.2,国内
40. Efficacy of the injection of botulinum toxin B on Raynaud's phenomenon in patients with systemic sclerosis: single-blind, randomized trial,oral,Sei-ichiro Motegi, Kazuya Yamada, Akihito Uehara, Akiko Sekiguchi, Yuki Date, Tetsuya Nakamura and Osamu Ishikawa, 日本研究皮膚科学会 第 41 回年次学術大会・総会, 2016.12.9-11, 国内
41. Mechanistic insight into the ATP-induced fibrosis in systemic sclerosis,oral,Buddhini Perera, Akihiko Uchiyama, Akihito Uehara, Kazuya Yamada, Sachiko Ogino, Yoko Yokoyama, Osamu Ishikawa, Sei-ichiro Motegi, 日本研究皮膚科学会 第 41 回年次学術大会・総会, 2016.12.9-11,国内
42. Inhibitory regulation of MFG-E8 on fibrosis in systemic sclerosis,oral,Chisako Fujiwara, Akihito Uehara, Yoko Yokoyama, Akihiko Uchiyama, Akiko Sekiguchi, Sachiko Ogino, Osamu Ishikawa, and Sei-ichiro Motegi, 日本研究皮膚科学会 第 41 回年次学術大会・総会, 2016.12.9-11,国内
43. 膠原病の皮膚病変について,口頭,茂木精一郎, 膠原病のリハビリテーション研究会, 2016.12.4, 国内
44. 「強皮症を理解して共生する」,口頭,石川 治, 第 1 回強皮症患者会「明日の会」, 2016.6.12,国内
45. 当科で行った臨床試験について,口頭,茂木精一郎, 第 1 回強皮症患者会「明日の会」, 2016.6.12, 国内
46. 強皮症の診断と治療（びまん性と限局性の違い、抗体値の種類と見方、服薬治療）,口頭,茂木精一郎, 第 2 回強皮症患者会「明日の会」, 2016.10.2,国内
47. Restructuring of the bleomycin Metal Core, oral,Taha F. S. Ali, Satomi Ida, Yosuke Kanemaru, Ryoko Koga, Ayumi Tanaka, Akiyuki Hamasaki, Tomohiko Ejima, Mohamed Osman Radwan, Halil Ibrahim Ciftci, Hiromasa Kurosaki, Yoshinari Okamoto, Mikako Fujita, Masami Otsuka, Japan-Turkey International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Sciences, 2016.10.02,国内
48. Development of Inhibitors for Zinc Proteins Related to Cancer, oral,Yoshinari Okamoto, Yasunori Oba, Ayumi Tanaka, Mika Kawabuchi, Hiroshi Tateishi, Mikako Fujita, Masami Otsuka, Japan-Turkey International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Sciences, 2016.10.03,国内
49. N-Substituted-L-Histidine Analogues as Anticancer Agents: A Structure-Activity Relationship Study,oral, Taha F. S. Ali, Kana Iwamaru, Halil Ibrahim Ciftci, Ryoko Koga, Hiromasa Kurosaki, Mikako Fujita, Yoshinari Okamoto, Masami Otsuka, Japan-Turkey International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Sciences. 2016.10.03,国内
50. Significance of Zinc Binding Site of HIV-2 Vpx,oral,Minami Yamamoto, Ryoko Koga, Haruna Fujino, Kazunori Shimagaki, Halil Ibrahim Ciftci, Masahiro Kamo, Hiroshi Tateishi,

Masami Otsuka, Mikako Fujita, Japan-Turkey International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Sciences, 2016.10.03,国内

51. Apremilast attenuates the fibrogenic phenotype of dermal fibroblasts from patients with systemic sclerosis., contributing to the prevention of the progression of experimental dermal fibrosis.oral,Higuchi T, Kawaguchi Y, et al, 2016 ACR/ARHP Annual Meeting, 2016.11,国外
52. M2-Shifted Mice Recapitulate Dermal and Pulmonary Remodeling.oral,Yasuoka H, Tam Y. Y, Okazaki Y, Kuwana M. et al. 4th Systemic Sclerosis World Congress, 2016.2,国外
53. Anti-RNA polymerase III antibody: from its discovery to utility in clinical practice and basic research.oral,Kuwana M, 4th Systemic Sclerosis World Congress, 2016.2,国外
54. Predictors of DU in SSC: Endothelial Progenitor Cells and Circulating Biomarkers.oral, Kuwana M, 18th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology Congress, 2016.9,国外
55. Clinical aspects and pathogenic roles of autoantibodies in systemic sclerosis. oral,Kuwana M, The 13th International Workshop on Autoantibodies and Autoimmunity. 2016.1,国外
56. 全身性強皮症における血清 KL-6 値の経済的測定の臨床的意義,口頭,白井悠一郎、岳野光洋、竹内勤、桑名正隆, 第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016.4, 国内
57. γ δ NKT 細胞によるブレオマイシン誘導間質性肺炎病態抑制能の解析,口頭,瀬川誠司、後藤大輔、飯塚 晃、金子駿太、横澤将宏、近藤裕也、松本 功、住田孝之, 第 60 回 日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016.4.21,国内
58. 疾患特異的 iPS 細胞を用いた、強皮症皮膚線維芽細胞におけるコラーゲン過剰産生の機序の検討,口頭,王 中志、神人正寿、後藤瑞生、江良択実、福島 聡、尹 浩信, 強皮症研究会議, 2016.1.16, 国内
59. A novel small compound that antagonizes TGF- β /Smad signaling ameliorates bleomycin-induced skin fibrosis.oral,Vu H.Luong, Chino T, Tokuriki A, Oyama N, Sasaki Y, Ogura D, Niwa S, Fujita M, Okamoto Y, Otsuka M, Ihn H, Hasegawa M. 日本研究皮膚科学会第 41 回 年次学術大会・総会, 2016.12,国内
60. Anti-CX3CL1 antibody therapy attenuates the development of bleomycin-induced and growth factors-induced skin fibrosis in mice.oral,Vu H.Luong, Chino T, Oyama N, Kuboi Y, Obara T, Machinaga A, Ogasawara H, Ikeda W, Imai T, Hasegawa M. 第 45 回日本免疫学会総会・学術集会, 2016.12,国内
61. 強皮症:実践的な診療から最新の治療まで,口頭,長谷川稔, 第 115 回日本皮膚科学会総会, 2016.6, 国内
62. 強皮症・皮膚筋炎・エリテマトーデス Up to date,口頭,長谷川稔, 第 67 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2016.1,国内
63. Blockade of perforin prevents mucocutaneous injury in a murine model of interface dermatitis,oral,Akimasa Saito, Naoko Okiyama, Noriko Kubota, Yosuke Ishitsuka, Rei Watanabe, Manabu Fujimoto, The 41st Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, 2016.12.11,国内
64. Suitable wavelength among UVA1 range for scleroderma treatment,oral,Hideyuki Masuda, Makoto Kimura, Akimichi Morita, ヨーロッパ研究皮膚科学会, 2016.9.7-10, 国外

65. UVA1 phototherapy for the treatment of T cell mediated skin diseases and scleroderma,oral, Akimichi Morita, Asian Dermatological Congress, 2016.10.13-16,国外
66. A novel UVA1 phototherapy using light-emitting diodes for scleroderma treatment, oral,Hideyuki Masuda, Makoto Kimura, Akimichi Morita, 日本研究皮膚科学会, 2016.12-9-11, 国内
67. 強皮症の硬化部位に対する UVA1 (340-400nm) 療法における波長特性の検討,口頭,益田秀之, 森田明理, 東京, 2016/1/1,国内
68. 強皮症 SSc 合併 PAH に対する特異的 PAH 治療薬併用療法の検討,口頭,田中 住明, 田中 知樹, 松枝 佑, 安部 学朗, 小川 英佑, 廣畑 俊成, 日本リウマチ学会総会, 2016. 4.21,国内
69. SLE・抗リン脂質抗体症候群 精神神経ループス Acute confusional state(ACS)における頭部 MRI 画像と臨床像および検査所見の検討,口頭,安部 学朗, 田中 知樹, 谷 名, 児玉 華子, 佐久間 裕子, 工藤 雄大, 小川 英佑, 有沼 良幸, 永井 立夫, 田中 住明, 廣畑 俊成, 日本リウマチ学会総会, 2016. 4.21,国内
70. Epoprostenol 投与中に甲状腺機能亢進症を合併した CTD-PH の 1 例,口頭,松枝 佑, 田中 住明, 廣畑 俊成, 日本肺高血圧症学会・循環学会 学術集会, 2016.10.2,国内
71. 日本人全身性エリテマトーデスと HLA-G 多型の関連.,口頭,川崎 綾、八谷有紀、古川 宏、近藤裕也、伊藤聡、松本功、草生真規雄、天野浩文、須田昭子、長岡章平、瀬戸ロ京吾、永井立夫、廣畑俊成、島田浩太、杉井章二、岡本 享、千葉実行、末松栄一、大野滋、片山雅夫、河野肇、高崎芳成、橋本博史、住田孝之、當間重人、土屋尚之. 第 60 回日本リウマチ学会, 2016.4.21-23, 国内
72. Long-term efficacy of self-administrated stretching for finger function in Japanese patients with systemic sclerosis,oral,Mugii N, Hamaguchi Y, Oohata S, Matsushita T, Takehara K, Systemic sclerosis world congress, 2016.2.19,国外
73. 強皮症血管障害モデルマウスの創傷治癒異常に対してボセンタンと bFGF が及ぼす影響についての検討,ポスター, 山下尚志、浅野善英、赤股要、宮川卓也、平林恵、中村洗樹、三浦俊介、三枝良輔、市村洋平、高橋岳浩、遠山哲夫、谷口隆志、吉崎歩、Maria Trojanowska、佐藤伸一, 日本臨床免疫学会総会, 2016.9.8
74. ブレオマイシン誘発皮膚線維化モデルにおける CD103 陰性真皮樹状細胞の役割,ポスター,三浦俊介、浅野善英、三枝良輔、山下尚志、谷口隆志、高橋岳浩、市村洋平、遠山哲夫、吉崎歩、門野岳史、佐藤伸一, 日本臨床免疫学会総会, 2016.9.9, 国内
75. Klf5^{+/-};Fli1^{+/-} mice recapitulate protracted wound healing and cardiac and intestinal involvement associated with systemic sclerosis.poster,Nakamura K, Asano Y, Miyagawa T, Hirabayashi M, Yamashita T, Saigusa R, Miura S, Toyama T, Takahashi T, Ichimura 2016 ACR/ARHP Annual Meeting, 2016.11.14,国外
76. Mechanisms of ATP-induced IL-6 production in systemic sclerosis fibroblasts.poster, Buddhini Perera, Akihiko Uchiyama, Kazuya Yamada, Akihito Uehara, Osamu Ishikawa, Sei-ichiro Motegi,北関東医学会総会, 2016.9.29,国内
77. 全身性強皮症の皮膚線維化・血管障害におけるアペリンの役割,ポスター,横山 洋子、荻野 幸子、山田 和哉、内山 明彦、石川 治、茂木精一郎, 北関東医学会総会, 2016.9.29,国内

78. 加圧光センサを用いた強皮症の末梢循環障害評価装置,ポスター,山越芳樹、茂木精一郎、石川 治, 北関東医学会総会, 2016.9.29,国内
79. A PI(4,5)P2 analog suppresses HIV-1 release and locked-in viral protein.poster,Hiroshi Tateishi, Kazuaki Monde, Ryoko Koga, Yuya Hayashi, Taishi Higashi, Keiichi Motoyama, Hidetoshi Arima, Kensaku Anraku, Masami Otsuka, Mikako Fujita. Cold Spring Harbor Meeting, Retroviruses, 2016, 2016.05.24,国外
80. Design and synthesis of small molecule Hsp70 inducers,poster,Taha Ali, Naomi Taira1, Ryoko Koga, Yoshinari Okamoto, Masami Otsuka, Mikako Fujita, 252nd American Chemical Society Annual Meeting, 2016.08.24.国外
81. Zinc-mediated binding of a low-molecular-weight stabilizer of the host anti-viral factor APOBEC3G,poster,Mohamed Radwan, Sachiko Sonoda, Tomohiko Ejima, Ayumi Tanaka, Ryoko Koga, Yoshinari Okamoto, Mikako Fujita, Masami Otsuka, 252nd American Chemical Society Annual Meeting, 2016.08.24. 国外
82. Design and Synthesis of Biologically Active Compounds Based on DHMEQ Structure,poster,Kenta Motomura, Yoshinari Okamoto, Ryoko Koga, Nanami Baba, Mikako Fujita, Kazuo Umezawa, Masami Otsuka, Japan-Turkey International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Sciences, 2016.10.03, 国内
83. Structural Modification of Phosphatidylinositol Resistant to Phospholipase Hydrolysis, poster,Souitiro Koba, Hiroshi Tateishi, Kensaku Anraku, Yoshinari Okamoto, Mikako Fujita, Masami Otsuka, Japan-Turkey International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Sciences, 2016.10.03, 国内
84. Effect of a Zinc-binding Small Molecule on TRAF6 and its Downstream Signal Pathway, poster,Ryoko Koga, Mohamed O. Radwan, Tomohiko Ejima, Yosuke Kanemaru, Masami Otsuka, Mikako Fujita, Japan-Turkey International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Sciences, 2016.10.03, 国内
85. Development of Small Molecule Hsp70 Inducer,poster,Naomi Taira, Taha F. S. Ali, Ryoko Koga, Yoshinari Okamoto, Masami Otsuka, Mikako Fujita, Japan-Turkey International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Sciences, 2016.10.03, 国内
86. Perforin is essential for induction of keratinocytes death in a murine model of autoimmune mucocutaneous disease with interface dermatitis,poster,Akimasa Saito, Naoko Okiyama, Noriko Kubota, Yosuke Ishitsuka, Rei Watanabe, Manabu Fujimoto, 13th International Workshop on Autoantibodies and Autoimmunity, 2016.10.12, 国内
87. Autoimmune CD8 T cell-mediated mucocutaneous disease with interface dermatitis is regulated by Langerhans cells,poster,Noriko Kubota, Naoko Okiyama, Akimasa Saito, Yosuke Ishitsuka, Rei Watanabe, Björn E. Clausen, Manabu Fujimoto, 13th International Workshop on Autoantibodies and Autoimmunity, 2016.10.12,国内
88. Wavelength characteristics of UVA1 therapy for scleroderma,poster,Hideyuki Masuda, Makoto Kimura, Akimichi Morita, Scottsdale(Society for Investigative Dermatology 75th Annual Meeting), 2016/5/1,国外

89. Suitable wavelength among UVA1 range for scleroderma treatment, poster, Hideyuki Masuda, Makoto Kimura, Akimichi Morita, München (46th ESDR 2016 Annual Meeting), 2016/9/1, 国外
90. A novel UVA1 phototherapy using light-emitting diodes for scleroderma treatment, poster, Hideyuki Masuda, Makoto Kimura, Akimichi Morita, 仙台(日本研究皮膚科学会 第41回年次学術大会・総会), 2016/12/1, 国内
91. Enhanced Expression of mRNA for Response Gene to Complement 32 in CD34+ Cells of the Bone Marrow in Rheumatoid Arthritis, poster, Yu Matsueda, Tatsuo Nagai, Tetsuya Tomita, Hideki Yoshikawa, Sumiaki Tanaka and Shunsei Hirohata, 2016 ACR/ARHP Annual Meeting, 2016.11.14, 国外
92. Efficacy of Pulmonary Arterial Hypertension-Specific Drugs Combination Therapy in Survival of Patients with Pulmonary Arterial Hypertension Associated with Systemic Sclerosis and Other Connective Tissue Diseases, poster, Sumiaki Tanaka, Yu Matsueda, Gakuro Abe, Jun Okada and Shunsei Hirohata, 2016 ACR/ARHP Annual Meeting, 2016.11.14, 国外
93. Association of HLA-DPB1 with ANCA-associated vasculitis in a Japanese population. poster, Kawasaki A, Hasebe N, Hidaka M, Hirano F, Sada K-e, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Yamagata K, Sumida T, Miyasaka N, Tohma S, Ozaki S, Matsuo S, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N. The 13th International Congress of Human Genetics. 2016.4.3-7, 国内
94. Plasma miRNA expression profiles in rheumatoid arthritis associated interstitial lung disease., poster, Oka S, Furukawa H, Shimada K, Hashimoto A, Komiya A, Tsuchiya N, Tohma S. The 13th International Congress of Human Genetics, 2016.4.3-7, 国内
95. 関節リウマチに合併する間質性肺病変と血漿中 miRNA 発現. ポスター, 岡笑美、古川宏、島田浩太、橋本篤、小宮明子、土屋尚之、當間重人. 第60回日本リウマチ学会, 2016.4.21-23, 国内
96. 抗セントロメア抗体陽性強皮症と HLA-DQB1 との関連. ポスター, 古川宏、岡笑美、川崎綾、島田浩太、杉井章二、松下貴史、橋本篤、小宮明子、小林 幸司、長田侑、井畑淳、永井立夫、瀬戸口京吾、岡本明子、岡本享、千葉実行、末松栄一、河野肇、片山雅夫、廣畑俊成、右田清志、長谷川稔、藤本学、佐藤伸一、竹原和彦、長岡章平、當間重人、土屋尚之. 第60回日本リウマチ学会, 2016.4.21-23, 国内
97. 全身性強皮症の抗核抗体別の障害像とリハビリテーション, ポスター, 麦井直樹, 澤田幸恵, 染矢富士子, 松下貴史, 濱口儒人, 竹原和彦, 日本リハビリテーション医学会, 2016.6.10, 国内

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み
特になし。

(4) 特許出願
なし